阪根氏によると、

いま学校

穴吹町における学校支援地域

グループ化について、

今後の

シストとなり、貴重な意見が 晃弘事務室長の4名がシンポ 長白井俊氏、富田中学校小山

携の中心を担っていくべきで

べきであると述べた。白井氏

で

情報発信出来るスキルをもつ

ā

からは徳島県での学校事務の

あると述べた。

森野氏からは、

より情報発信を行い、地域連

学院阪根健二准教授、徳島新 聞社森野永巳部長、教職員課

シ

ン ポ ジ

ウム

ウムが開かれた。鳴門教育大 の二つのテーマで、シンポジ 画及び学校事務組織のあり方 校事務職員の地域連携への参

> 事務室が広報紙という手段に ワークづくりが大切である。 推し進めるためには、ネット

校は、

非常時にこそ、素早く

第5分科会では午前中、

学

と地域が一体となり、

教育を

本部事業と徳島新聞社の積極

的な関わりが紹介された。

た、災害時に避難所となる学

務職員の立場から、小山氏は、

131

校事務職員の熱気が伝 たちの思いを受け継ぎ、

全会 わる

るそうです。

今回は、

徳 第

阿波の地の熱い思い出とな 島大会にお越しの皆様に、 42回全事研大会を祝し、 うと、今年で4年目を迎え

ろです。

員の愉しい交流の場にしよ 味を持ち寄り、学校事務職 オー プニングに花を添えた

職員とOBの方々が中心と 徳島県公立小中学校事務

なって、

絵画・書道

芸などの習作展が開かれて

習作展」は、

お互いの趣

います。

この「里芋の

二度目となる今回も先輩

学

期間は、7月28日から30日 場として開催されている。 アスティとくしまを主な会 事務研究大会徳島大会が、 の三日間。 な育ちを支援する学校事務 「子どもの豊か

か

第42回全国公立小中学校

住東小学校、 が集まった。 (OUR) ネットワーク」

児童による阿波踊りが大会 を大会テーマに全国から学 校事務関係者約2000人 加茂小学校の また、地元藍

ひろがれ!つながれ!阿波

を期待している。

心

を

フ

さらなる発展に繋がること の経験が、今後の県事研の 員で大会運営に携わったこ 阿波会議となるよう、



発行所 第5分科会

里

芋

の

習

作

展

を合わせました。 るよう会員一同

(徳島支部1

門教育大学大学院准教授阪 研究部員達は「鳴門教育大 局読者室部長森野永巳氏を IE学会常任理事である鳴 午後の分科会は、 新聞づくりを体験 ダー 役を務めた 徳島新聞社編集 事務職員 日 本 N 阪根健 氏 号外を徳島新聞の宅配網を 日を迎えた。 ウハウを一から学び、この を通して、 のための新聞づくり講座」 力により、校内号外・地域 地元紙である徳島新聞の協 新聞づくりの 新聞講座では、

講師に、

した。リー

地元小学生が阿波踊りで歓迎

学公開講座」

な く 囚 報 紙

県教育委員会としての方向性 が述べられた。また、学校事

た取組が、

ると熱く語っ 積極的な情報発信をすること 上位職 (課長級) が設置され い事務組織の役割が見えてく 持って学校経営の中核的役割 学校事務グループから地域に を担うことができる。さらに、 ることにより、責任と権限を 地域と学校を結ぶ、新し

ぶことができた。

づくりに取り組む参加者 ることを願っている。

な効果を上げている現状を 知り、広報紙の重要性を学 通じて地域に届けるといっ 地域連携に大き ついての講義を受けた後 的な新聞・広報紙づくりに 学校がより強い絆で結ばれ た「見出しは九文字以内」 伝えよう!」を合い言葉に 「地元に帰って徳島大会を たことがうかがわれた。 ことにより、 づくりの橋渡しとなる効果 新聞づくりのプロから教わっ 層強くし、地域の人々と 参加者は、 ネッ トワーク 島への思いを

願いが叶うといわ

れて

います。

事務職員が学校と地域をつ がった新聞が徳島と全国を 熱心に取り組んだ。 できあ なぐきっ かけとなってくれ 「押さえて流す」といった 割付のツボを押さえながら、 つなぐ橋渡しとなり、学校 |徳島からお接待の たいものです。 ちをたくさん届け 直に受け、 科会参加者の皆様に、 のふれあいを大切にし すから「お接待」は素 持ちが込められていま ります。 ます気持ちと寄託の気 というおもてなしがあ この旅には「お接待」 修行の旅を励 地元の方と 第五分

編集後

をたどる旅。すべてま われば、煩悩が消え、 弘法大師の修行の足跡 います。霊場巡りとは、 地蔵寺ですが「羅漢さ 場があり「五番」目は から二十三番までの霊 所霊場巡りに由来して ん」として親しまれて います。徳島には一番 札所」は、 私たちの新聞「五 四国八十八ヶ

県坂出市立櫃石中学校・日

座協力者の藤川由香氏指導

による「櫃石新聞」(香川

本新聞教育文化財団わがま

チブックも見どこ 兼事務長が描かれ 事務局長であられ (昭和48年度)の 第5回徳島大会 風景画やスケッ 故中友治主査 7月28~30日9:30~18:00(30日は13:30まで) アスティとくしま2 階「フレアとくしま展示ギャラリー」 (入場無料)

受賞) のふるさとへの愛着 ち新聞コンクー ル最優秀賞

が島の人々に直接取材する あふれた紙面からは、生徒